
江東区民意識意向調査

報告書 < 概要版 >

平成 20 年 3 月



目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	2
1. サンプル（調査回答者）の性別、年齢	2
2. 江東区での居住歴と今後の定住意向	3
(1) 居住年数	3
(2) 定住・転出意向	3
3. 現状の江東区のイメージと江東区が目指すべきまちの姿	4
(1) 江東区の良いイメージ	4
(2) 江東区の悪いイメージ	4
(3) 江東区の望ましい将来像	5
4. 生活する周辺の環境への評価	6
(1) 現在の生活周辺環境評価	6
(2) 以前と比較した生活周辺環境評価	7
(3) 回答対象の環境との関係が特に強い層の回答状況	8
(4) 生活周辺環境の位置づけ（総合評価）	9
(5) 優先的に取り組むべき項目	14
(6) 満足度と優先度の関係	16
5. 江東区の将来に向けて重点的に取り組むべき政策・施策	22
(1) 健康維持・医療体制の充実	22
(2) 高齢者の生活支援	22
(3) 子育て環境の充実	23
(4) 学校の教育力向上	24
(5) 環境保全・資源の有効活用	25
(6) 観光	26
(7) 新たなまちづくり	26
(8) 地域コミュニティの活性化	27
(9) 区民参画・協働の現状と今後の意向	27
(10) 区民参画・協働の参加しやすい形	28
(11) 区政情報の公開	29

1. 調査の概要

調査目的

- ・ 本区の新しい基本構想・長期基本計画の策定に向けて、幅広く区民の意識や意向を把握し、策定の基礎資料として活用することを目的に、無作為に抽出した区民を対象として実施。

調査の内容

- ・ 属性
- ・ 江東区での居住歴と今後の定住意向
- ・ 現状の江東区のイメージと目指すべきまちの姿
- ・ 生活する周辺の環境に対する評価と取り組みの優先度
- ・ 江東区の将来に向けた政策・施策

調査方法

- ・ 調査地域：江東区全域
- ・ 調査対象：江東区在住の満 20 歳以上の男女
- ・ 標 本 数：3,000 人
- ・ 調査方法：郵送配布、留置、郵送回収

調査対象者の抽出

- ・ 母集団…………… 江東区住民基本台帳上の満 20 歳以上の男女
- ・ 抽出法…………… 無作為抽出法

調査期間

- ・ 平成 19 年 11 月 10 日～12 月 7 日

回収結果

- ・ 3,000 サンプルを抽出し、有効回収数 1,302 サンプル（回収率 43.4%）であった。

地区区分

- ・ 地域別分析に用いた回答者の居住地区の地区区分は以下の通りである。

図表I-1 地区・町丁目対応表

地 区	該 当 町 丁 目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番)、新砂1丁目1番
豊 洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀 戸	亀戸
大 島	大島
砂 町	北砂、南砂(1丁目、5丁目)、南砂2丁目(24番~34番)、東砂(1丁目~5丁目)
南 砂	東砂(6丁目~8丁目)、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番・24番~34番を除く) 3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1番を除く) 2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

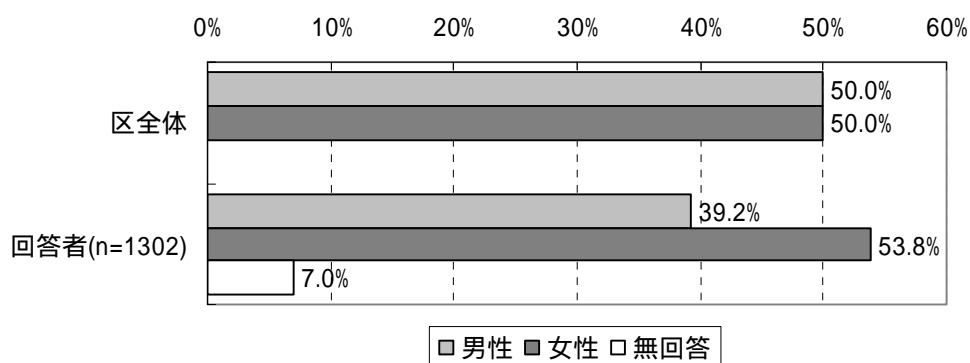
II. 調査結果

1. サンプル（調査回答者）の性別、年齢

性別

- 母集団は男性、女性概ね同じ割合であるが、回答者は女性の方が高い。

図表II-1 性別

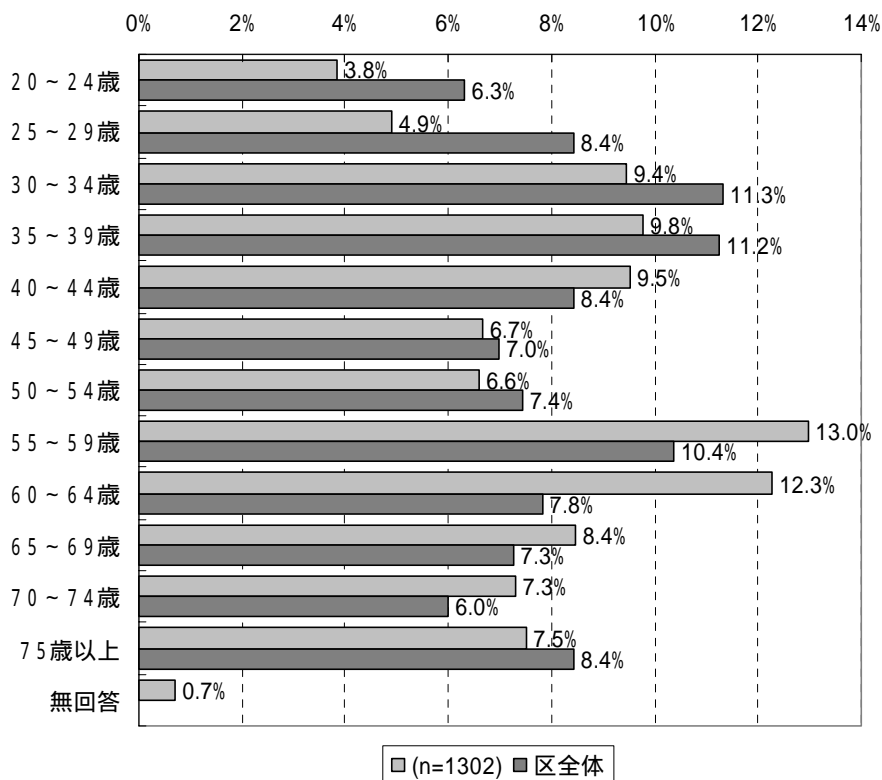


母集団は江東区「人口統計」による平成19年1月1日時点の人口

年齢

- 母集団の割合に比べて20～29歳が特に低く、55歳以上64歳以下が特に高い。

図表II-2 年齢

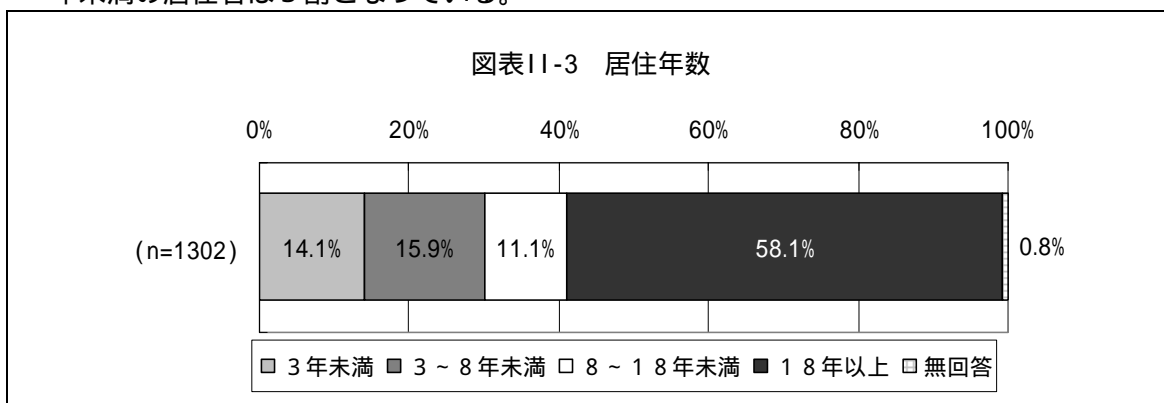


母集団は江東区「人口統計」による平成19年1月1日時点の人口

2. 江東区での居住歴と今後の定住意向

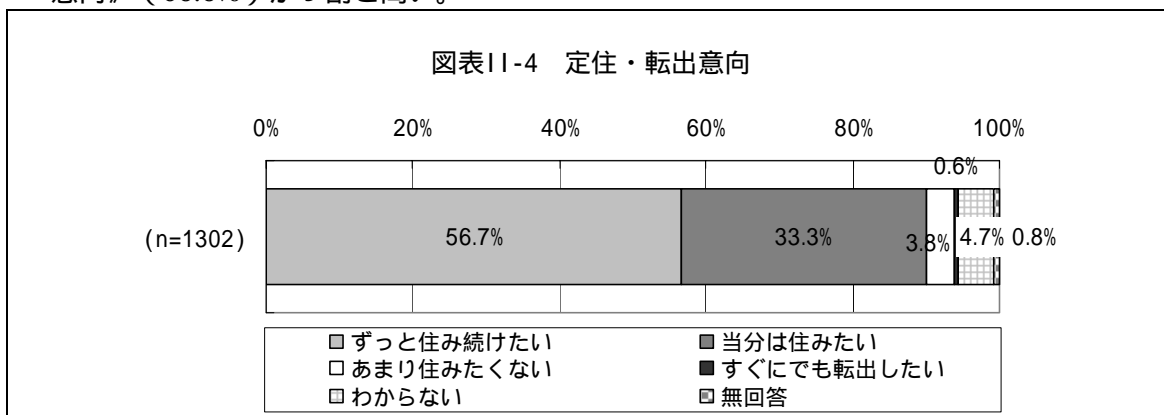
(1) 居住年数

- ・ 「18年以上」(58.1%)の長期居住者の割合が最も高く、半数を超えている。一方、10年未満の居住者は3割となっている。



(2) 定住・転出意向

- ・ 「ずっと住み続けたい」(56.7%)と「当分は住みたい」(33.3%)を合わせた、《定住意向》(90.0%)が9割と高い。



【地区別】

- ・ 地区別に「ずっと住み続けたい」「当分は住みたい」を合わせた《定住意向》をみると、いずれの地区も9割程度となっており、高い定住意向を示している。

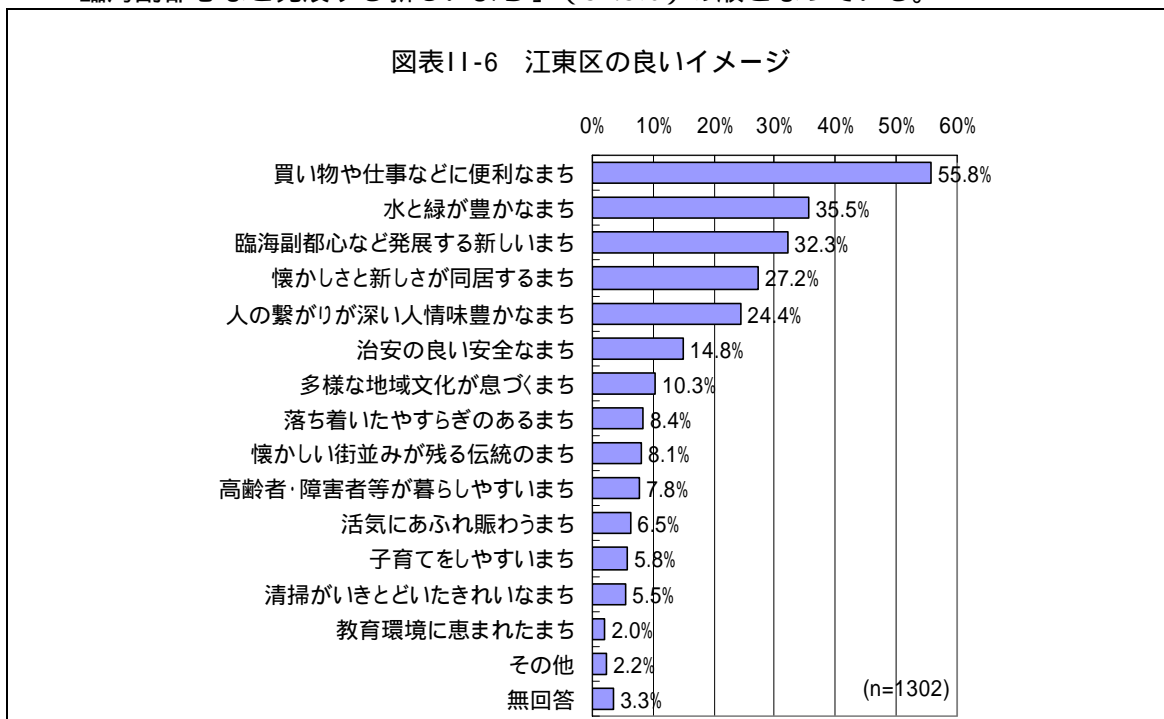
図表11-5 地区別《定住意向》の推移

	ずっと住み続けたい	当分は住みたい	あまり住みたくない	すぐにでも転出したい	わからない	無回答
白河・小松橋(n=213)	60.1%	32.9%	2.3%	0.9%	2.3%	1.4%
富岡・東陽(n=198)	55.6%	34.3%	3.5%	1.5%	4.0%	1.0%
豊洲(n=227)	47.1%	42.3%	4.4%	0.9%	4.8%	0.4%
亀戸(n=144)	59.7%	30.6%	2.1%	0.7%	6.9%	0.0%
大島(n=174)	60.9%	28.2%	3.4%	0.0%	6.9%	0.6%
砂町(n=213)	58.2%	30.5%	5.6%	0.0%	4.2%	1.4%
南砂(n=126)	60.3%	30.2%	4.0%	0.0%	4.8%	0.8%
無回答(n=7)	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%

3. 現状の江東区のイメージと江東区が目指すべきまちの姿

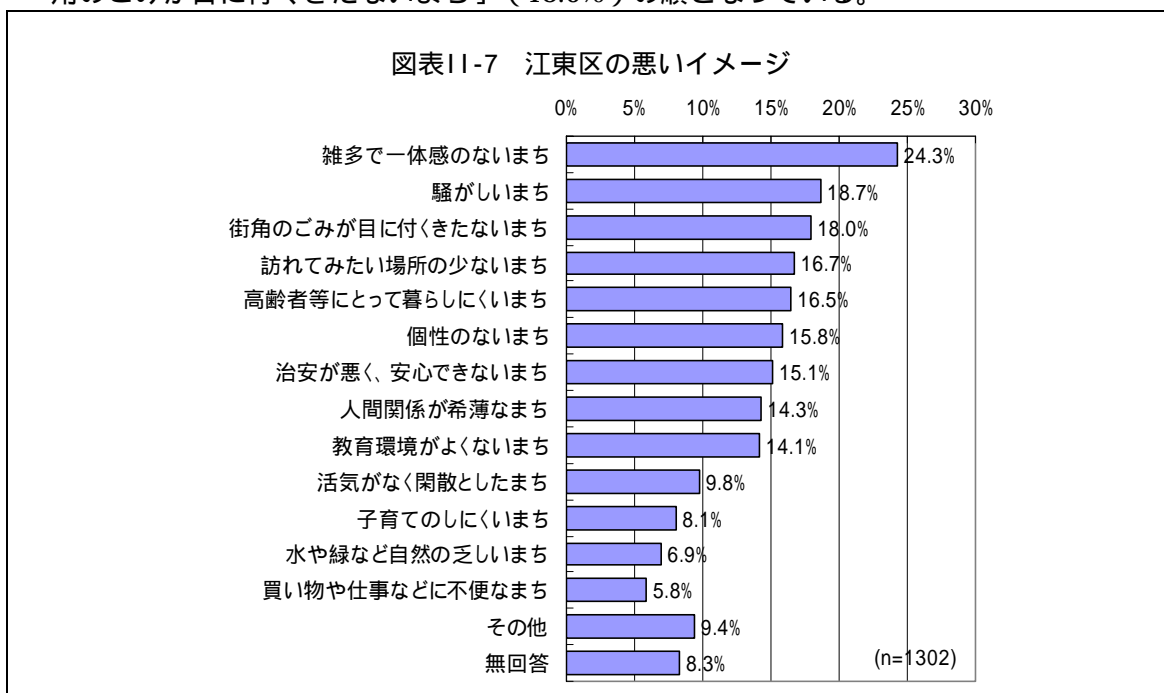
(1) 江東区の良いイメージ

- ・ 「買物や仕事などに便利なまち」(55.8%)が最も高く、「水と緑が豊かなまち」(35.5%)、「臨海副都心など発展する新しいまち」(32.3%)の順となっている。



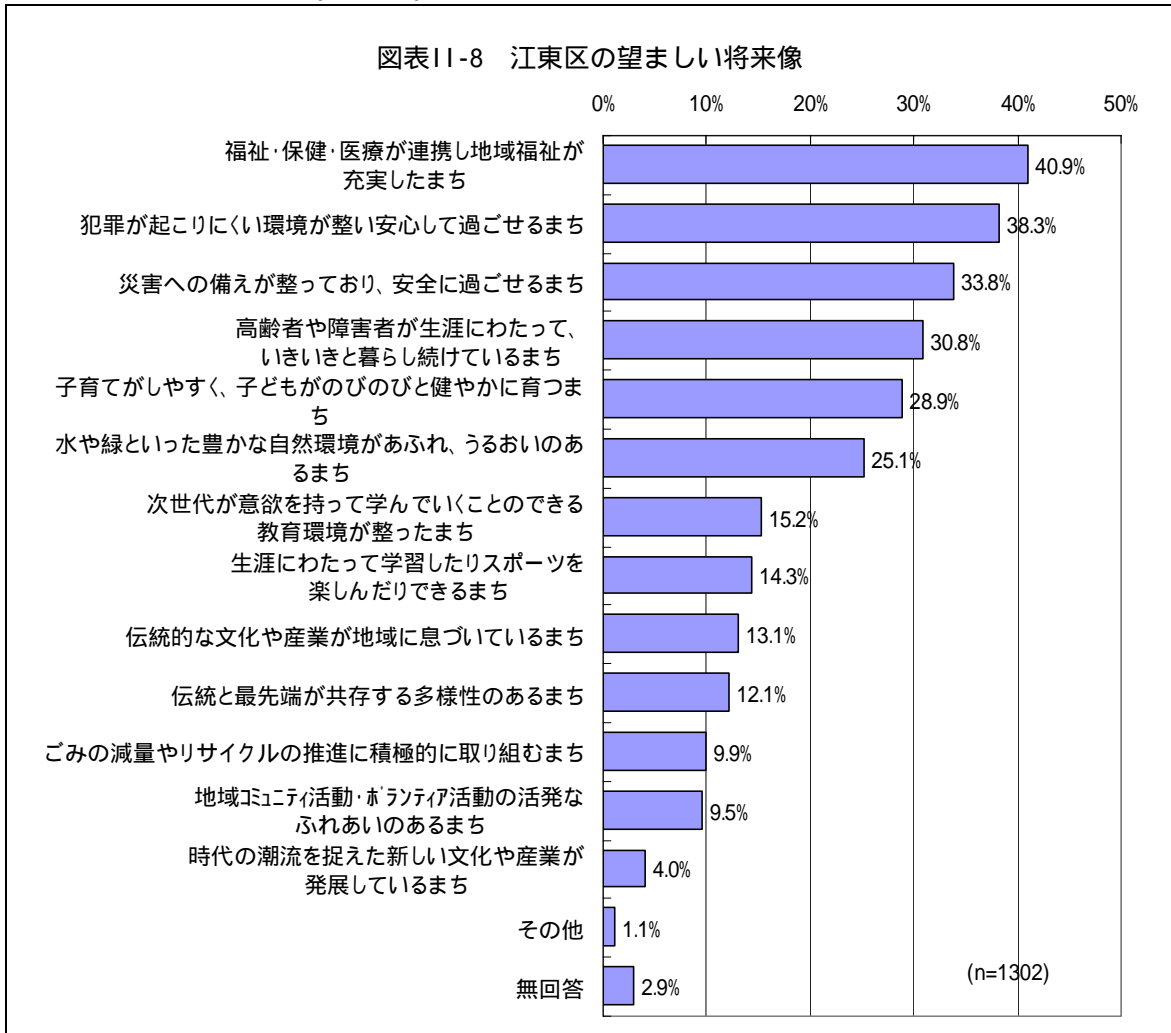
(2) 江東区の悪いイメージ

- ・ 「雑多で一体感のないまち」(24.3%)が最も高く、「騒がしいまち」(18.7%)、「街角のごみが目に付きたないまち」(18.0%)の順となっている。



(3) 江東区の望ましい将来像

- ・ 「福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち」(40.9%)が最も高く、「犯罪が起りにくい環境が整い安心して過ごせるまち」(38.3%)、「災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち」(33.8%)、「高齢者や障害者が生涯にわたっていきいきと暮らしていけるまち」(30.8%)の順となっている。



4. 生活する周辺の環境への評価

- 生活環境に関する43項目について、それぞれ現在の状況と以前（4～5年前）と比べた変化、それぞれの分野で今後優先して取り組むべき項目は何かを把握した。

(1) 現在の生活周辺環境評価

a) 現在の状況が良い項目

- 回答者全体では、「臨海部の新しいまちの整備状況」（29.2%）が最も高く、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」（27.4%）、「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」（24.7%）の順となっている。

図表II-9 現在の状況が良い項目 上位10項目（回答者全体）

順位	現在の状況が良い項目	割合(%)
第1位	31.臨海部の新しいまちの整備状況	29.2
第2位	30.水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	27.4
第3位	26.道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	24.7
第4位	37.海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	13.8
第5位	6.だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	13.1
第6位	25.商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	12.8
第7位	12.観光客が増え、観光が活発化している様子	12.4
第8位	35.ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	12.3
第9位	7.伝統文化の保護や活用の状況	10.9
第10位	8.地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	10.1

b) 現在の状況が悪い項目

- 回答者全体では、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」（37.3%）が最も高く、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」（33.0%）、「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」（28.1%）の順となっている。

図表II-10 現在の状況が悪い項目 上位10項目（回答者全体）

順位	現在の状況が悪い項目	割合(%)
第1位	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	37.3
第2位	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	33.0
第3位	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	28.1
第4位	10.国内外の多様な人々との交流の活発さ	25.2
第5位	41.区政に意見を言える機会の充実	24.3
第6位	19.高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	21.9
第7位	24.いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	21.2
第8位	13.区内産業の活発さと中小企業への支援	20.6
第9位	40.区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	20.4
第10位	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	19.7

(2) 以前と比較した生活周辺環境評価

a) 以前と比べて良くなった項目

- ・ 回答者全体では、「臨海部の新しいまちの整備状況」(37.6%)が最も高く、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」(30.0%)、「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」(28.6%)の順となっている。この上位3項目は、現在の状況が良い項目としてあげられた上位3項目と同じである。

図表II-11 以前と比べて良くなった項目 上位10項目(回答者全体)

順位	以前と比べて「良くなった」項目	割合(%)
第1位	31.臨海部の新しいまちの整備状況	37.6
第2位	30.水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	30.0
第3位	26.道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	28.6
第4位	42. I Tの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	21.7
第5位	35.ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	20.9
第6位	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	19.1
第7位	37.海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	18.0
第8位	25.商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	17.9
第9位	12.観光客が増え、観光が活発化している様子	17.5
第10位	38.清潔で調和ある都市景観の美しさ	17.3

b) 以前と比べて悪くなった項目

- ・ 回答者全体では、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」(33.0%)が最も高く、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」(26.1%)、「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」(16.7%)の順となっている。

図表II-12 以前と比べて悪くなった項目 上位10項目(回答者全体)

順位	以前と比べて「悪くなった」項目	割合(%)
第1位	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	33.0
第2位	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	26.1
第3位	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	16.7
第4位	2.子どもを育む家庭や地域の教育力	14.1
第5位	3.子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	13.7
第6位	13.区内産業の活発さと中小企業への支援	12.4
第7位	1.子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	12.0
第8位	34.公害等環境汚染のない安全な生活環境	9.4
第9位	24.いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	8.6
第10位	19.高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	8.5

(3) 回答対象の環境との関係が特に強い層の回答状況
子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス

【家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者】

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪い」とする回答割合が21.8%、「良い」とする回答割合が10.0%で、ともに回答者全体と比べて高くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「良くなった」とする回答割合が23.6%、「悪くなった」とする回答割合が6.6%で、ともに回答者全体と比べて高くなっている。

図表II-13 子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	5.1%	58.8%	13.1%	23.0%	1,302	11.9%	57.4%	4.9%	25.8%
家族に中学校卒業前 の子どもがいる回答 者	229	10.0%	60.3%	21.8%	7.9%	229	23.6%	59.0%	6.6%	10.9%

利用しやすい保育サービスの提供

【家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者】

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪い」とする回答割合が33.2%で回答者全体と比べて高くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「良くなった」とする回答割合が10.9%、「悪くなった」とする回答割合が8.7%で、ともに回答者全体と比べて高くなっている。

図表II-14 利用しやすい保育サービスの提供

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	2.8%	57.0%	17.4%	22.7%	1,302	8.7%	59.8%	6.5%	25.0%
家族に中学校卒業前 の子どもがいる回答 者	229	2.2%	56.3%	33.2%	8.3%	229	10.9%	69.9%	8.7%	10.5%

(4) 生活周辺環境の位置づけ(総合評価)

- ・ 「現在の状況」と「以前との比較」の回答結果を数値化し、それぞれの+・-の組み合わせにより、生活周辺環境の各項目を「以前よりも良くなり満足している()」「以前より悪くなったが現状は満足している()」「以前よりは良くなったが満足できない()」「以前より悪くなり、満足できない()」に分類して分析を行った。

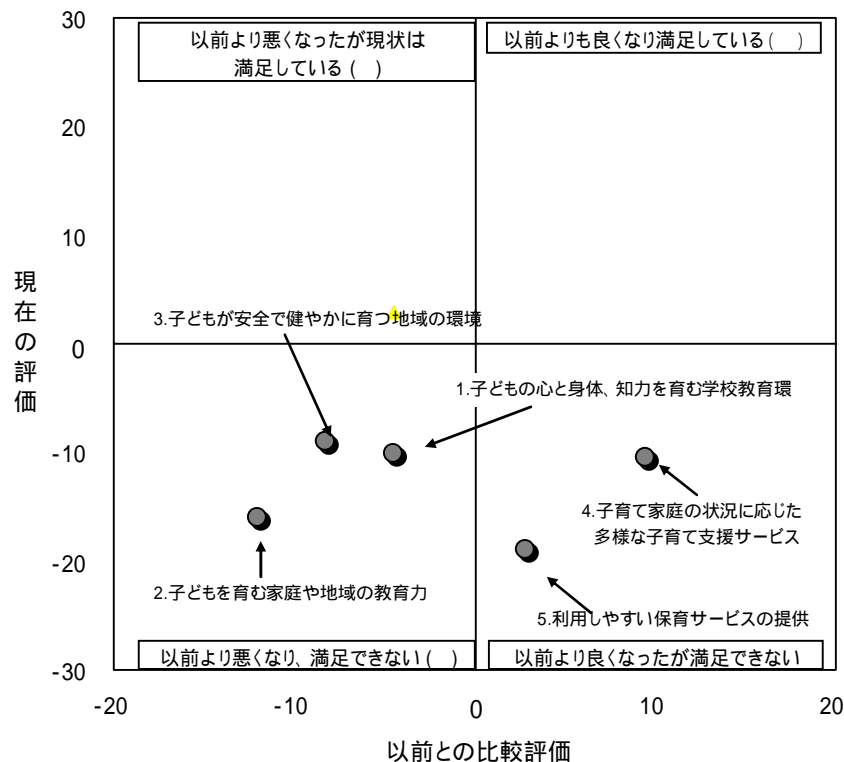
図表II-15 総合評価の分類類型

パターン		以前との比較	現在の満足度
	以前よりも良くなり満足している	+	+
	以前より悪くなったが現状は満足している	-	+
	以前よりは良くなったが満足できない	+	-
	以前より悪くなり、満足できない	-	-

教育・児童福祉

- ・ 「子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス」、「利用しやすい保育サービスの提供」が『以前よりは良くなったが満足できない()』に、「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」、「子どもを育む家庭や地域の教育力」、「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」が『以前より悪くなり、満足できない()』に位置づけられており、特に「子どもを育む家庭や地域の教育力」に対する満足度が低くなっている。

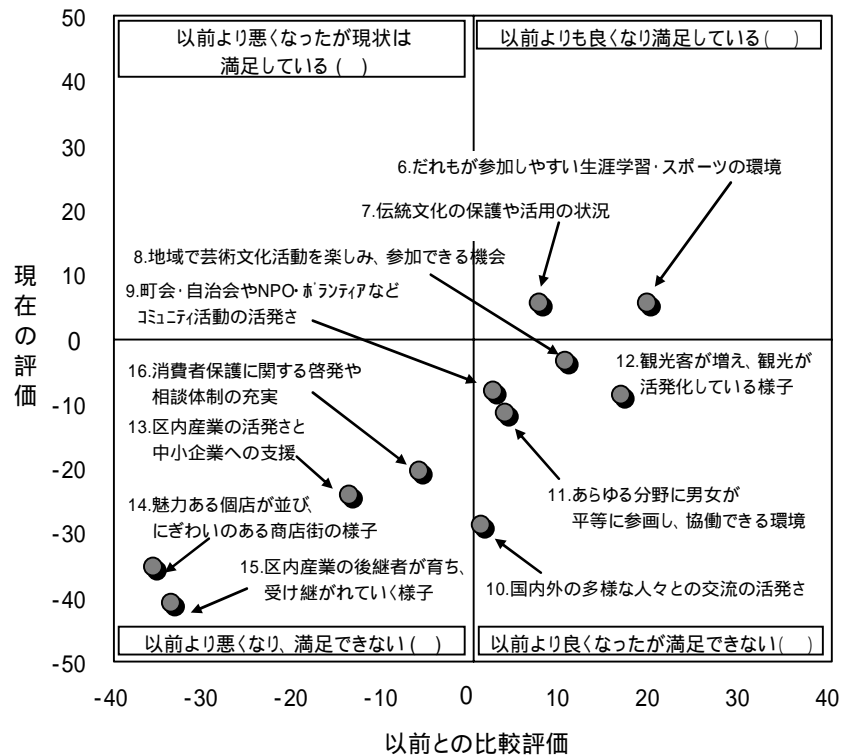
図表II-16 教育・児童福祉の総合評価



産業・コミュニティ・文化

- ・ 「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」、「伝統文化の保護や活用の状況」が『以前よりも良くなり満足している ()』に位置づけられている。
- ・ 「地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会」、「町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ」、「国内外の多様な人々との交流の活発さ」、「あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境」、「観光客が増え、観光が活発化している様子」が『以前よりは良くなったが満足できない ()』に、「区内産業の活発さと中小企業への支援」、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」、「消費者保護に関する啓発や相談体制の充実」が『以前より悪くなり、満足できない ()』に位置づけられており、特に「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」に対する満足度が低くなっている。

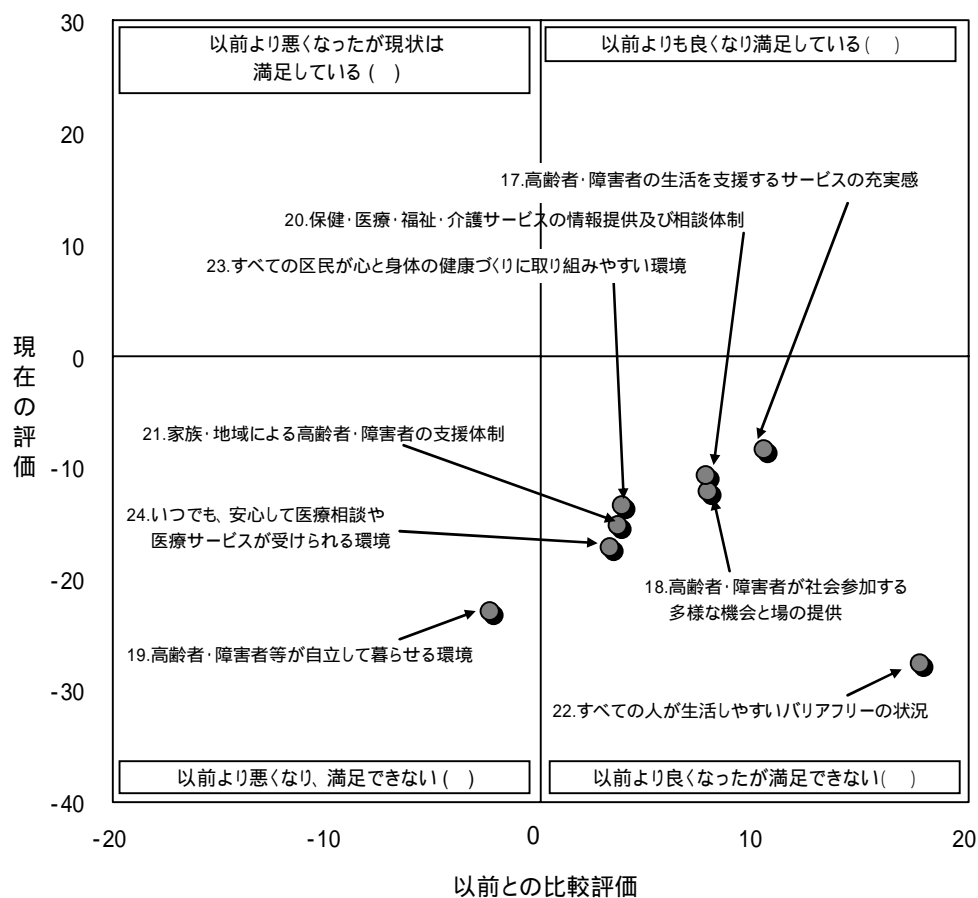
図表II-17 産業・コミュニティ・文化の総合評価



福祉・介護・健康

- ・ 「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」、「高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供」、「保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制」、「家族・地域による高齢者・障害者の支援体制」、「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」、「すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境」、「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」が『以前よりは良くなったが満足できない()』に、「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」が『以前より悪くなり、満足できない()』に位置づけられており、特に「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」に対する満足度が低くなっている。

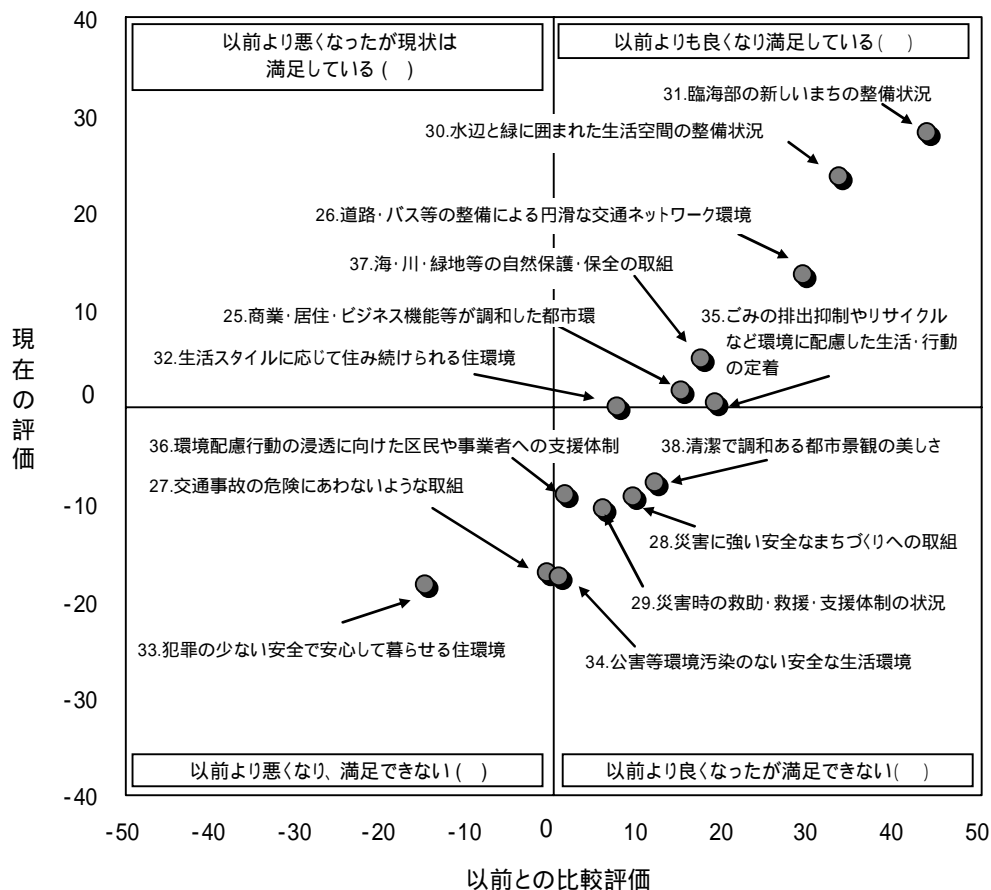
図表II-18 福祉・介護・健康の総合評価



都市づくり

- ・ 「商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境」、「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」、「臨海部の新しいまちの整備状況」、「海・川・緑地等の自然保護・保全の取組」が『以前よりも良くなり満足している ()』に位置づけられており、特に「臨海部の新しいまちの整備状況」に対する満足度が高くなっている。
- ・ 「災害に強い安全なまちづくりへの取組」、「災害時の救助・救援・支援体制の状況」、「生活スタイルに応じて住み続けられる住環境」、「公害等環境汚染のない安全な生活環境」、「ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着」、「環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制」、「清潔で調和ある都市景観の美しさ」が『以前よりは良くなったが満足できない ()』に、「交通事故の危険にあわないような取組」、「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」が『以前より悪くなり、満足できない ()』に位置づけられており、特に「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」に対する満足度が低くなっている。

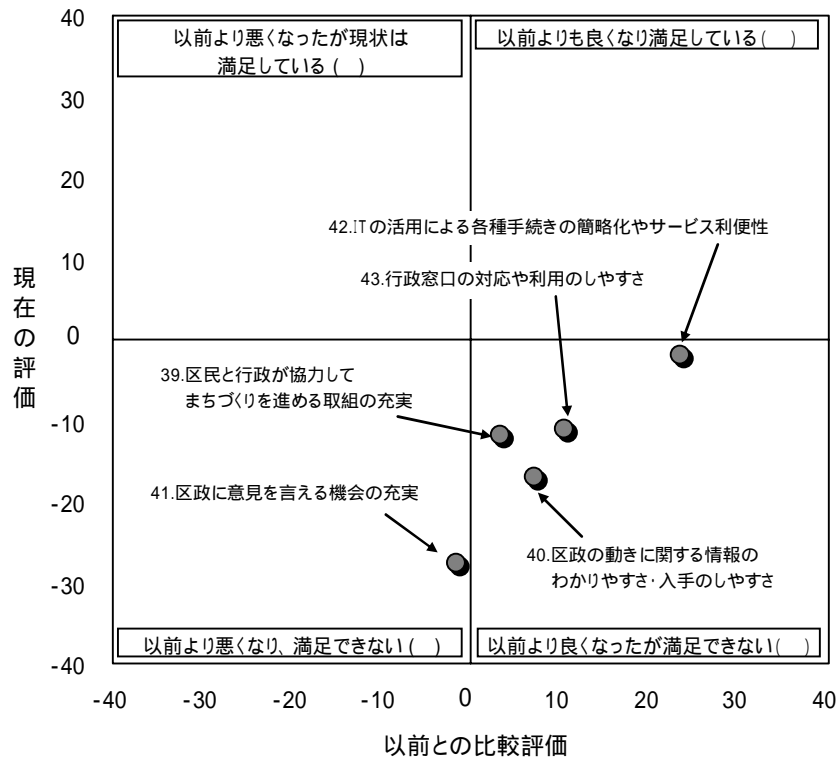
図表II-19 都市づくりの総合評価



行政運営

- ・ 「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」、「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」、「ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性」、「行政窓口の対応や利用のしやすさ」が『以前よりは良くなったが満足できない()』に、「区政に意見を言える機会の充実」が『以前より悪くなり、満足できない()』に位置づけられている。

図表11-20 行政運営の総合評価

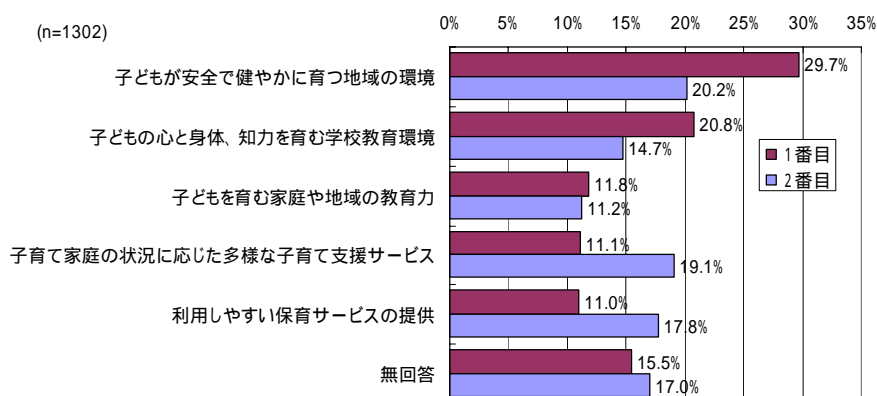


(5) 優先的に取り組むべき項目

教育・児童福祉

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」(29.7%)が最も高く、「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」(20.8%)、「子どもを育む家庭や地域の教育力」(11.8%)の順となっている。

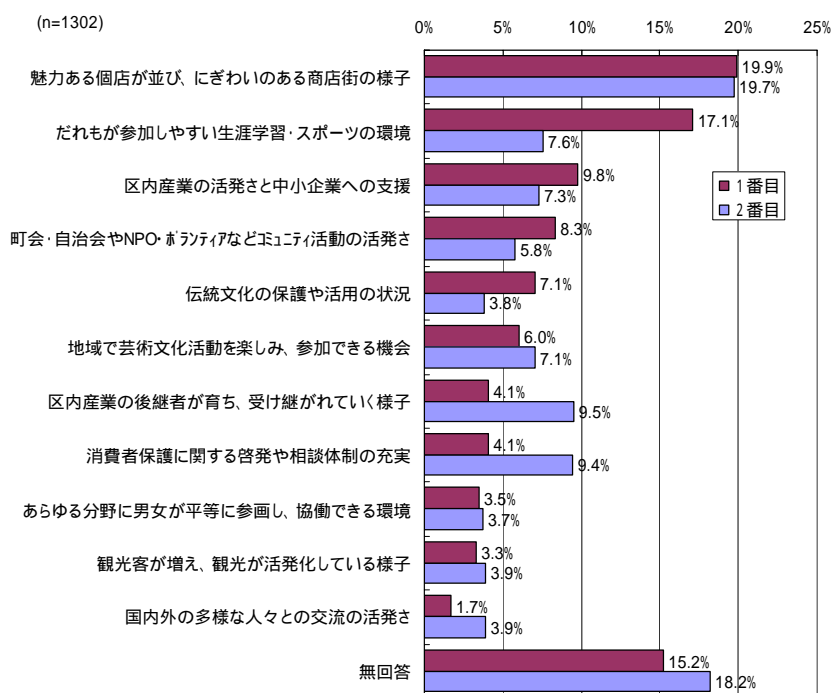
図表II-21 教育・児童福祉における各項目の優先度



産業・コミュニティ・文化

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」(19.9%)が最も高く、「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」(17.1%)、「区内産業の活発さと中小企業への支援」(9.8%)の順となっている。2番目に挙げられたものの割合も概ね同様の傾向を示している。

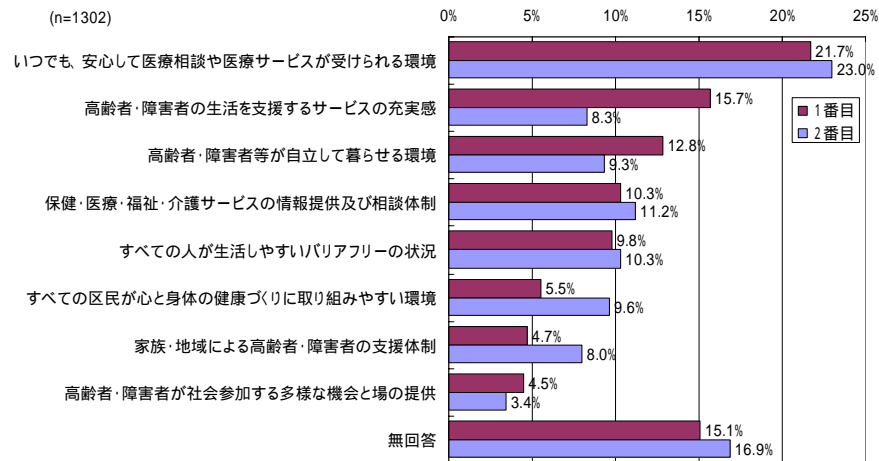
図表II-22 産業・コミュニティ・文化における各項目の優先度



福祉・介護・健康

- 優先度1番目にあげられた割合は「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」(21.7%)が最も高く、「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」(15.7%)、「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」(12.8%)の順となっている。

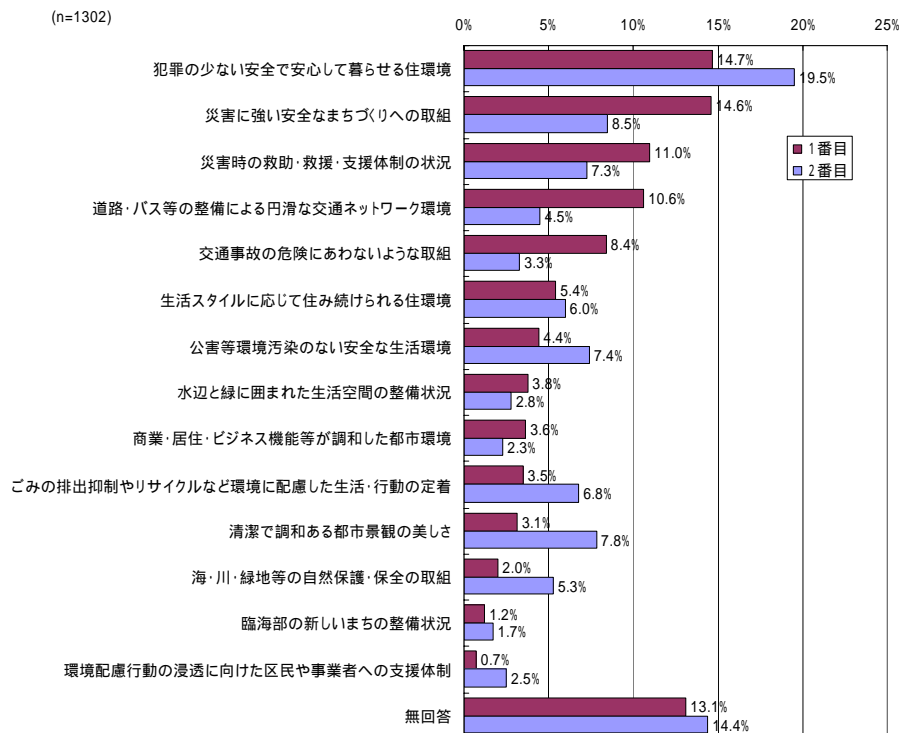
図表II-23 福祉・介護・健康における各項目の優先度



都市づくり

- 優先度1番目にあげられた割合は「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」(14.7%)が最も高く、「災害に強い安全なまちづくりへの取組」(14.6%)、「災害時の救助・救援・支援体制の状況」(11.0%)の順となっている。

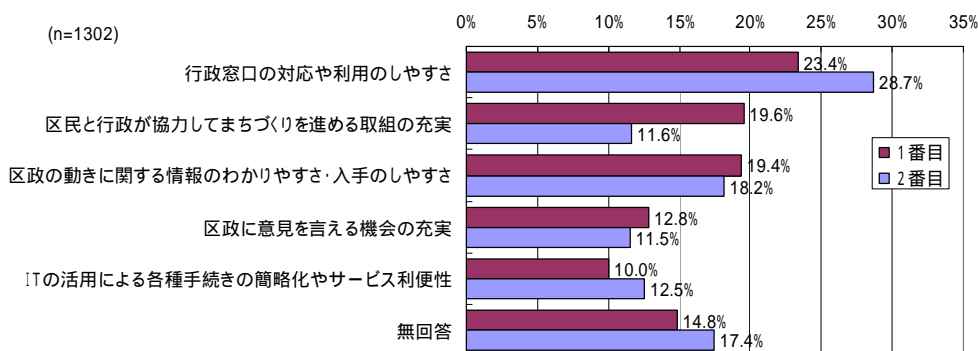
図表II-24 都市づくりにおける各項目の優先度



行政運営

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は「行政窓口の対応や利用のしやすさ」(23.4%)が最も高く、「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」(19.6%)、「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」(19.4%)の順となっている。

図表II-25 行政運営における各項目の優先度



(6) 満足度と優先度の関係

- ・ 周辺生活環境の項目について、満足度(現在の状況について)と施策の優先度を数値化し、現在の状況の満足度のプラス・マイナス(+/-)、優先度と平均優先度との大小関係により、「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い()」「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い()」「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い()」「現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い()」に分類して行った。

図表II-26 満足度と優先度の関係の分類

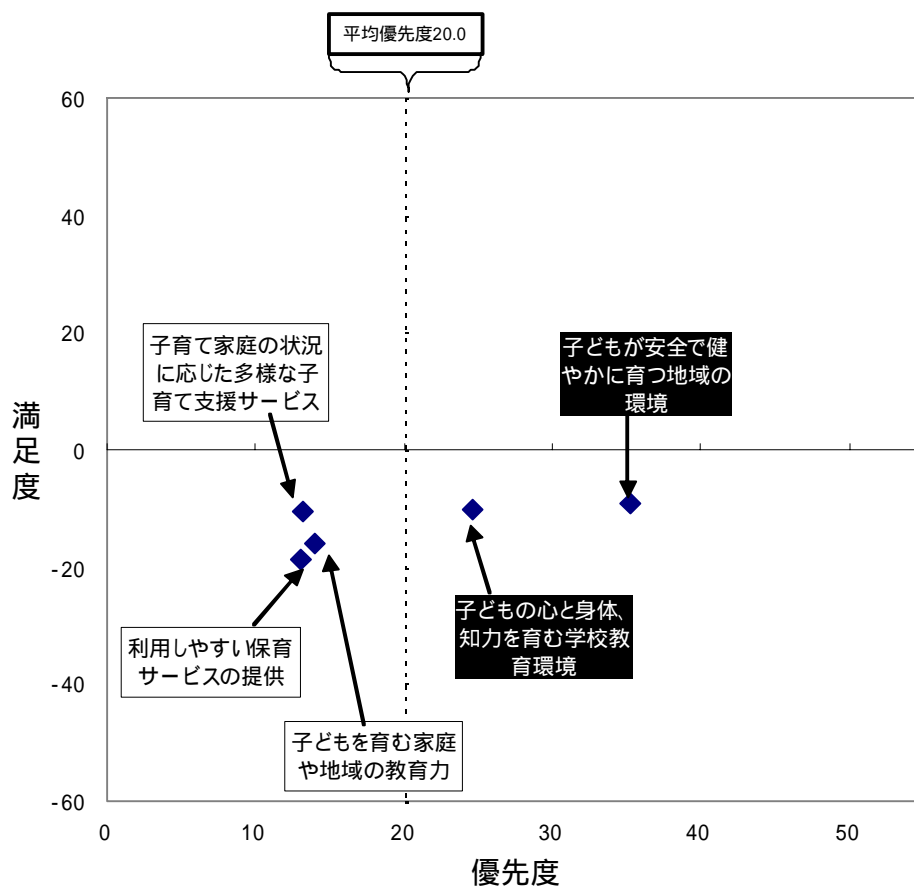
パターン	現在の満足度	優先度
現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い()	+	平均より高い
現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い()	+	平均より低い
現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い()	-	平均より高い
現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い()	-	平均より低い

注) 優先度の数値は、設問の中で優先度が高いものを選択する方式のため、全てプラスの数値である。

教育・児童福祉

- ・ 「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」、「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「子どもを育む家庭や地域の教育力」、「子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス」、「利用しやすい保育サービスの提供」が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表II-27 教育・児童福祉の満足度と優先度の散布図

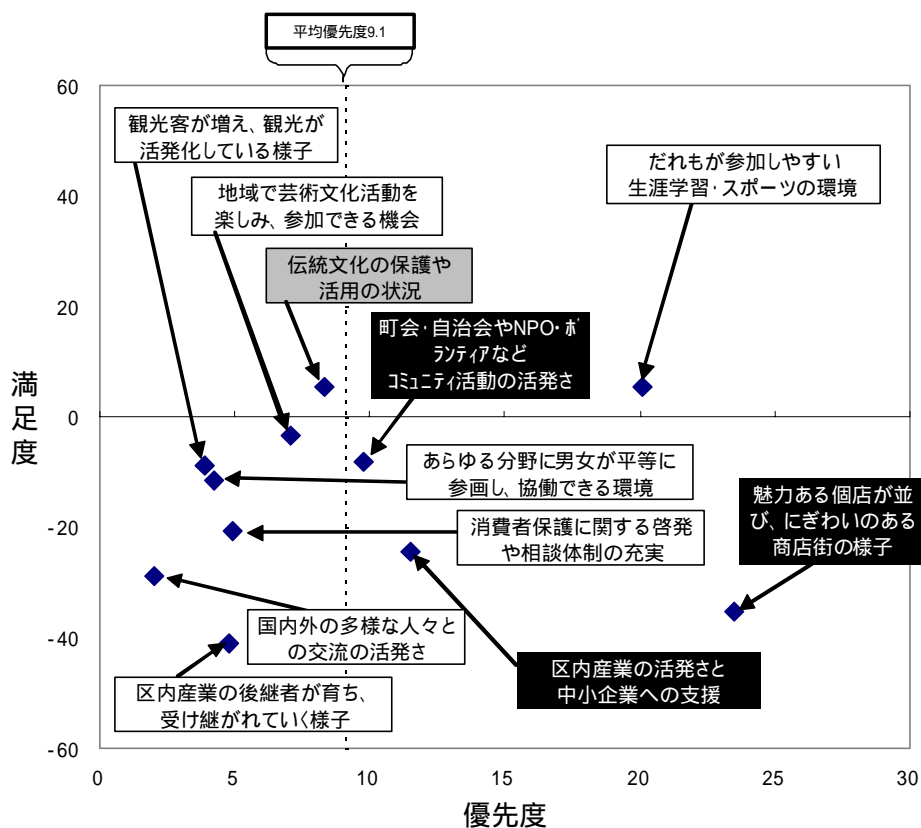


薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

産業・コミュニティ・文化

- ・ 「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」が「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い ()」に位置づけられており、区民のニーズにあった環境整備がなされている。
- ・ 「町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ」、「区内産業の活発さと中小企業への支援」、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「伝統文化の保護や活用の状況」が「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い ()」に位置づけられている。
- ・ 「地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会」、「国内外の多様な人々との交流の活発さ」、「あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境」、「観光客が増え、観光が活発化している様子」、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」、「消費者保護に関する啓発や相談体制の充実」が「現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表11-28 産業・コミュニティ・文化の満足度と優先度の散布図

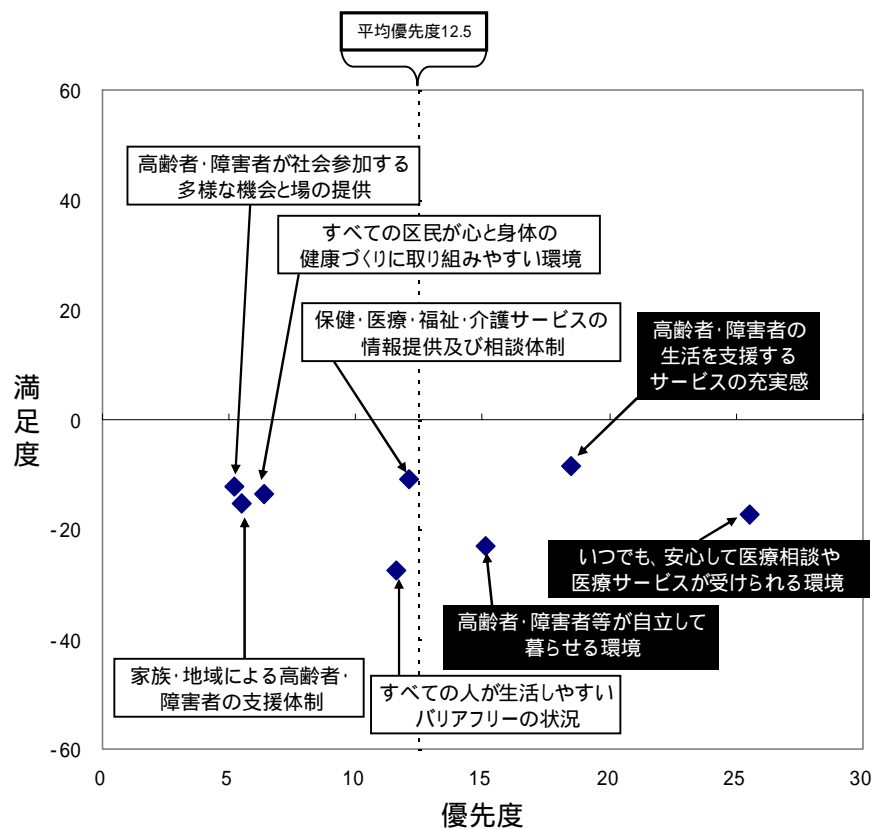


薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

福祉・介護・健康

- ・ 「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」、「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」、「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い()」に位置づけられており、特に「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供」、「保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制」、「家族・地域による高齢者・障害者の支援体制」、「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」、「すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境」が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い()」に位置づけられている。

図表11-29 福祉・介護・健康の満足度と優先度の散布図

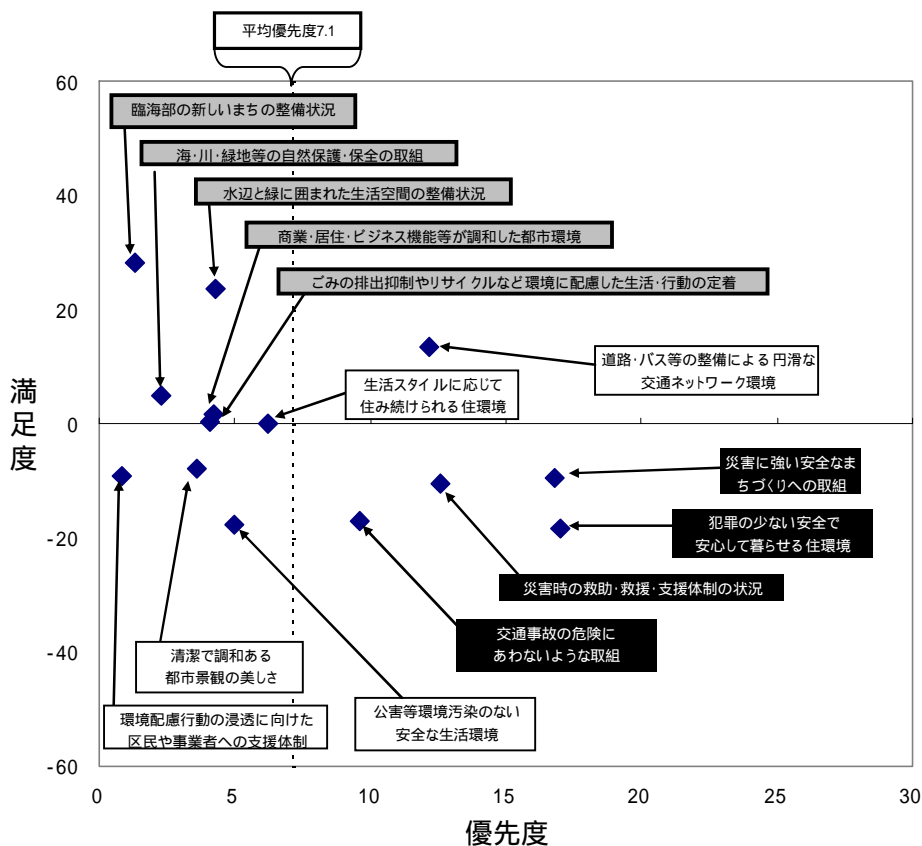


薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

都市づくり

- ・ 「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」が「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い ()」に位置づけられており、区民のニーズにあった環境整備がなされている。
- ・ 「交通事故の危険にあわないような取組」、「災害に強い安全なまちづくりへの取組」、「災害時の救助・救援・支援体制の状況」、「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境」、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」、「臨海部の新しいまちの整備状況」、「ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着」、「海・川・緑地等の自然保護・保全の取組」が「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い ()」に位置づけられている。
- ・ 「生活スタイルに応じて住み続けられる住環境」、「公害等環境汚染のない安全な生活環境」、「環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制」、「清潔で調和ある都市景観の美しさ」が「現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表11-30 都市づくりの満足度と優先度の散布図

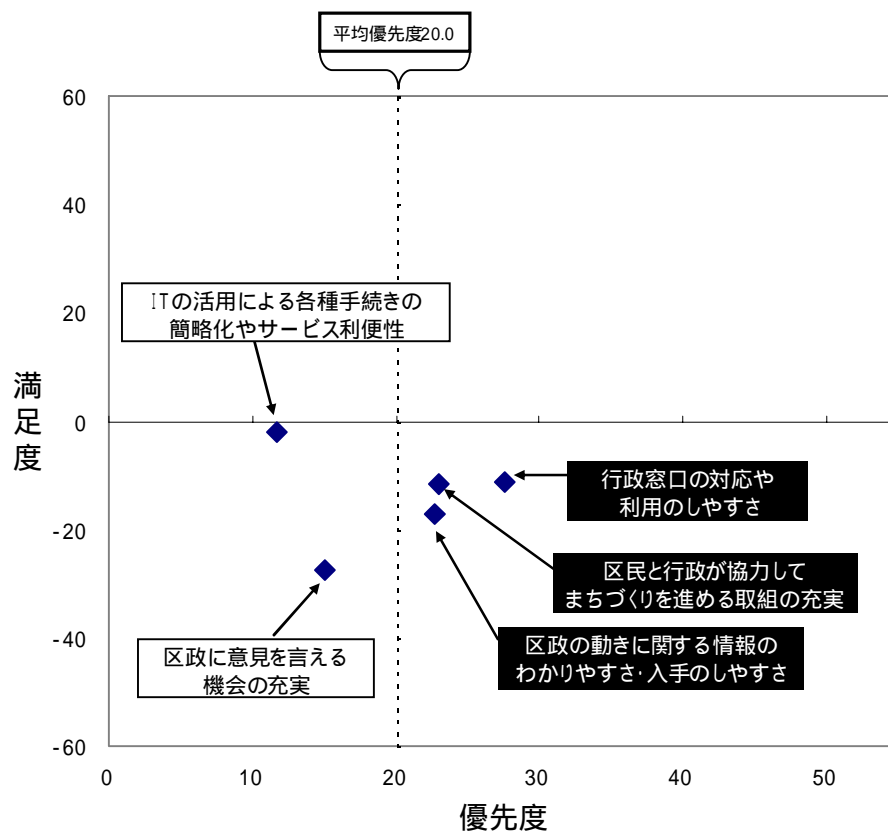


薄塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

行政運営

- ・ 「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」、「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」、「行政窓口の対応や利用のしやすさ」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「区政に意見を言える機会の充実」、「IT の活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性」が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表II-31 行政運営の満足度と優先度の散布図

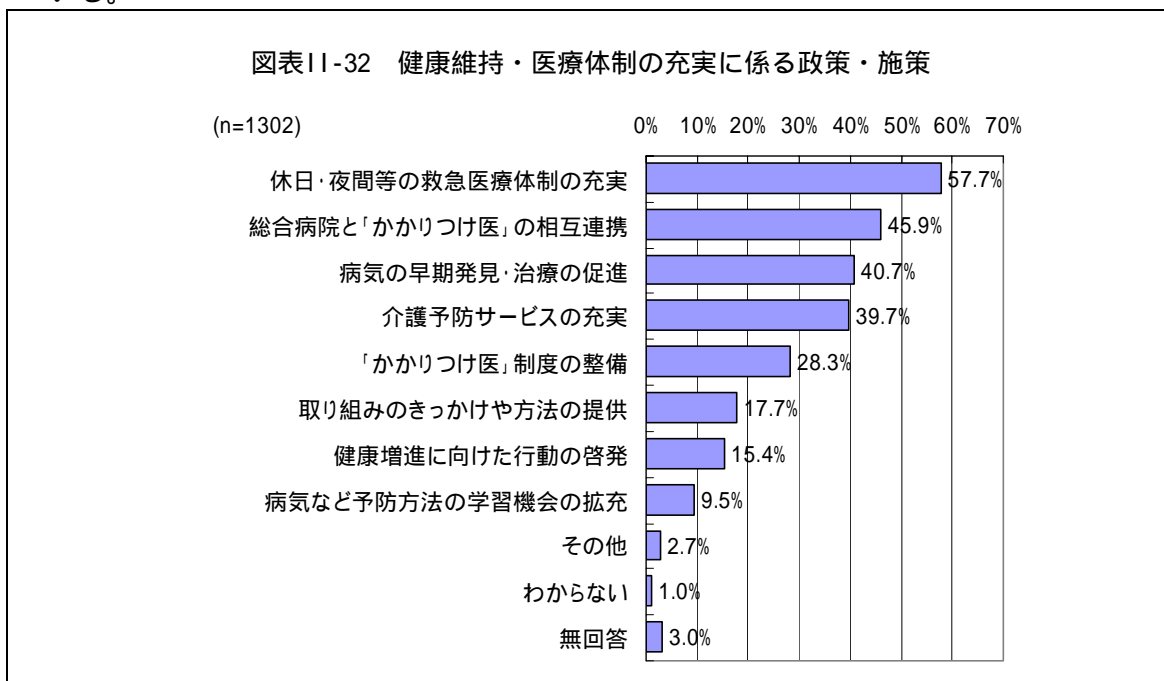


薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

5. 江東区の将来に向けて重点的に取り組むべき政策・施策

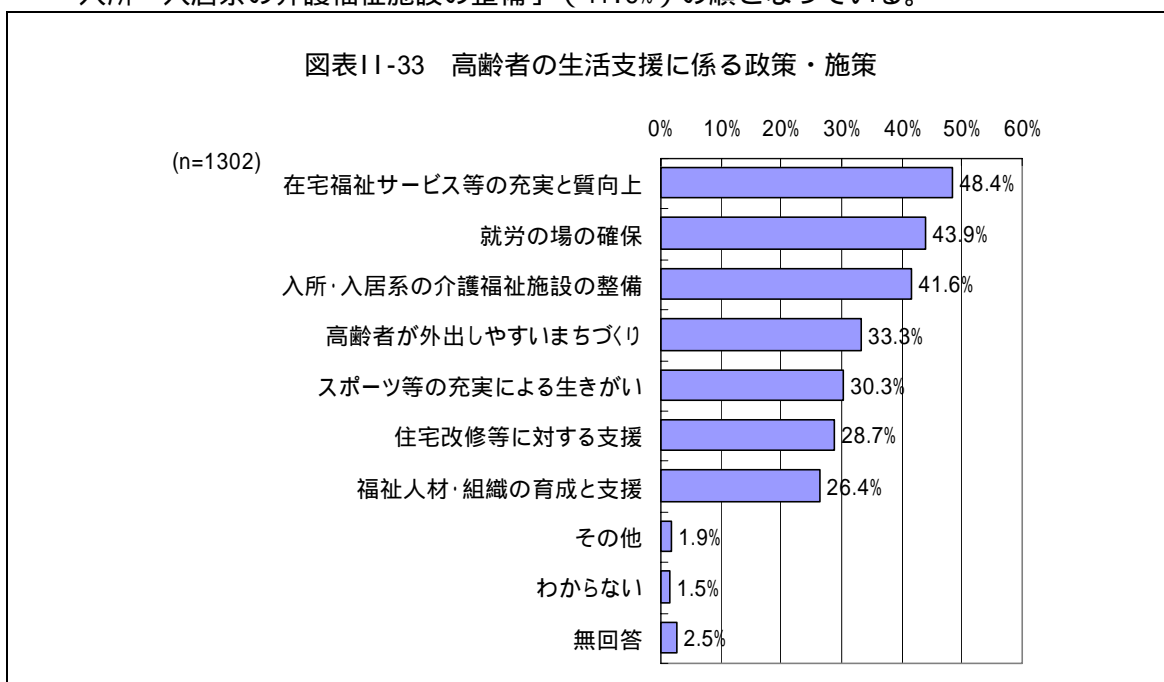
(1) 健康維持・医療体制の充実

- ・ 「休日・夜間等の救急医療体制の充実」(57.7%)が最も高く、「総合病院と「かかりつけ医」の相互連携」(45.9%)、「病気の早期発見・治療の促進」(40.7%)の順となっている。



(2) 高齢者の生活支援

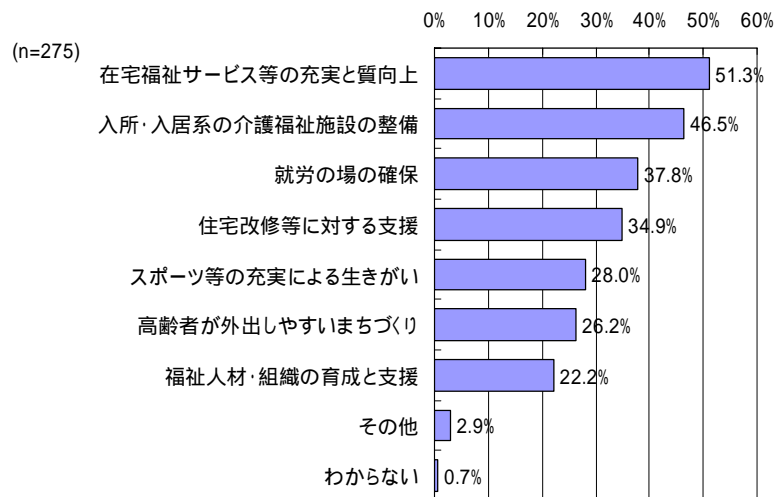
- ・ 「在宅福祉サービス等の充実と質向上」(48.4%)が最も高く、「就労の場の確保」(43.9%)、「入所・入居系の介護福祉施設の整備」(41.6%)の順となっている。



【家族に65歳以上の高齢者がいる回答者】

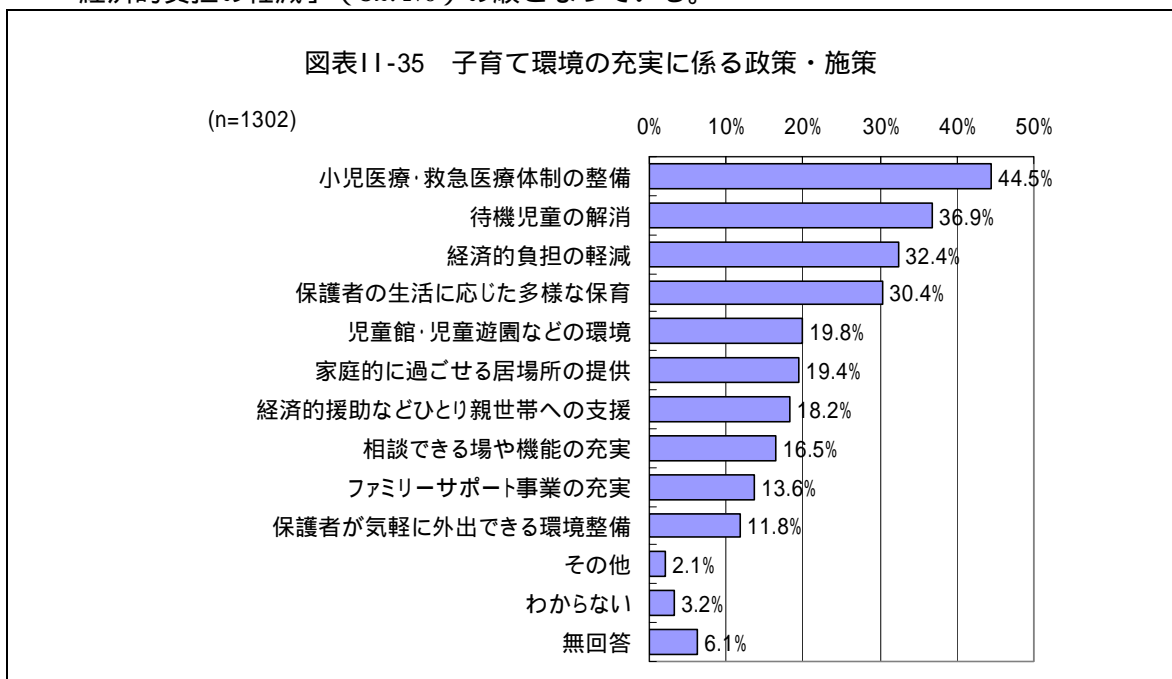
- ・ 家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「在宅福祉サービス等の充実と質向上」(51.3%)が最も高く、「入所・入居系の介護福祉施設の整備」(46.5%)、「就労の場の確保」(37.8%)の順となっている。

図表II-34 高齢者の生活支援に係る政策・施策(家族に65歳以上の高齢者がいる回答者)



(3) 子育て環境の充実

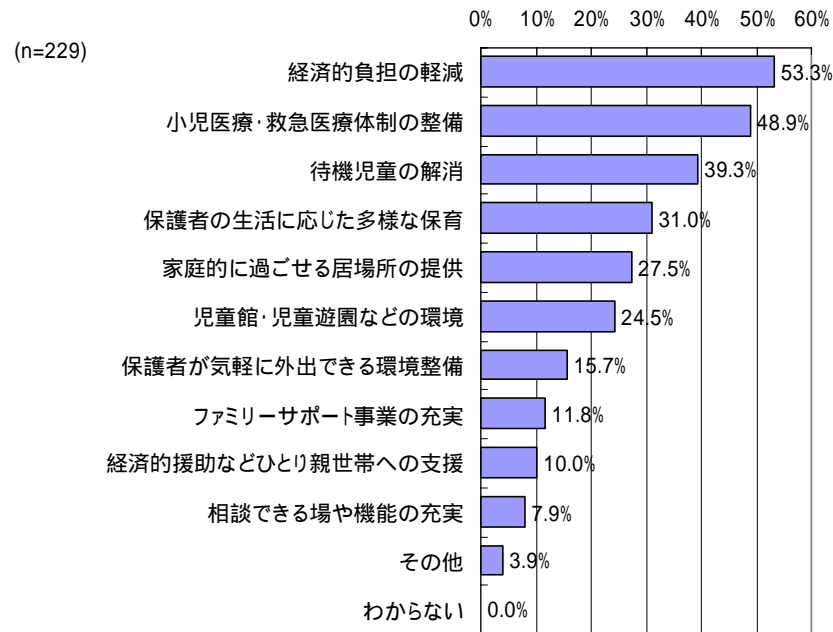
- ・ 「小児医療・救急医療体制の整備」(44.5%)が最も高く、「待機児童の解消」(36.9%)、「経済的負担の軽減」(32.4%)の順となっている。



【家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者】

- ・ 家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「経済的負担の軽減」（53.3%）が最も高く、「小児医療・救急医療体制の整備」（48.9%）、「待機児童の解消」（39.3%）の順となっている。

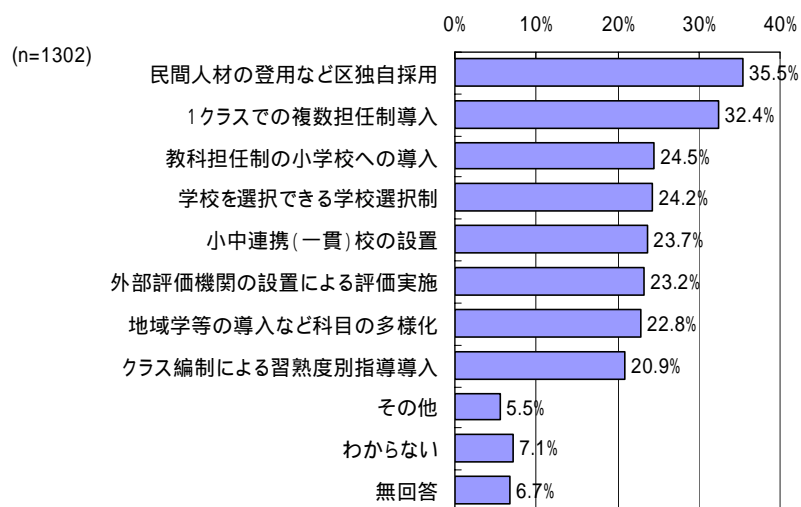
図表II-36 子育て環境の充実に係る政策・施策（家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者）



(4) 学校の教育力向上

- ・ 「民間人材の登用など区独自採用」（35.5%）が最も高く、「1クラスでの複数担任制導入」（32.4%）、「教科担任制の小学校への導入」（24.5%）の順となっている。

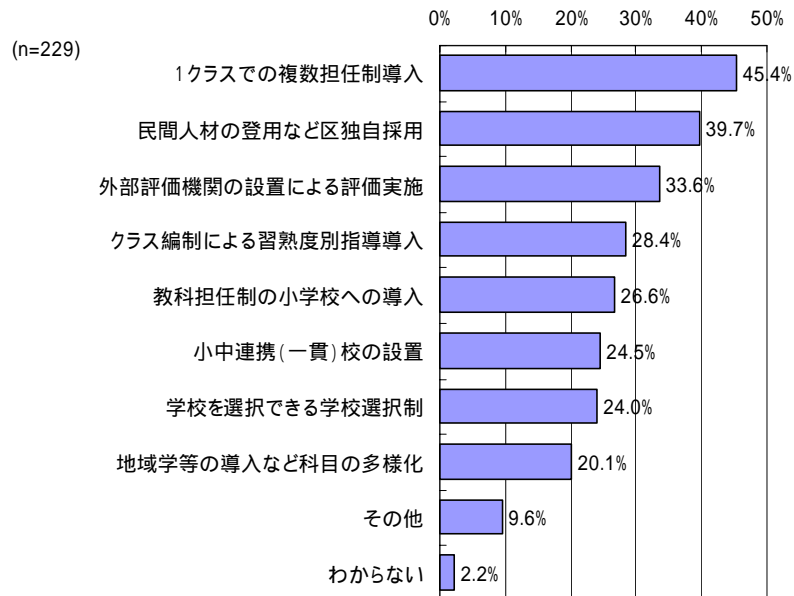
図表II-37 学校の教育力向上に係る政策・施策



【家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者】

- ・ 家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「1クラスでの複数担任制導入」(45.4%)が最も高く、「民間人材の登用など区独自採用」(39.7%)、「外部評価機関の設置による評価実施」(33.6%)の順となっている。

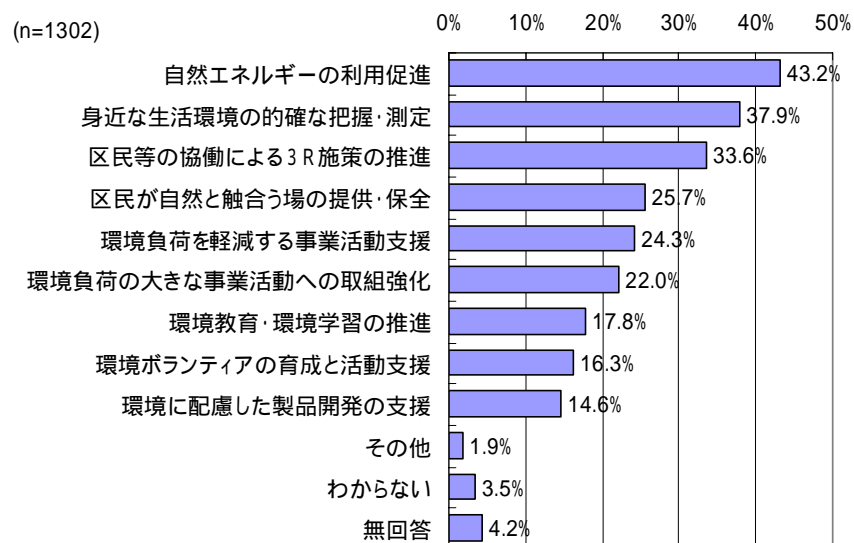
図表II-38 学校の教育力向上に係る政策・施策(家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者)



(5) 環境保全・資源の有効活用

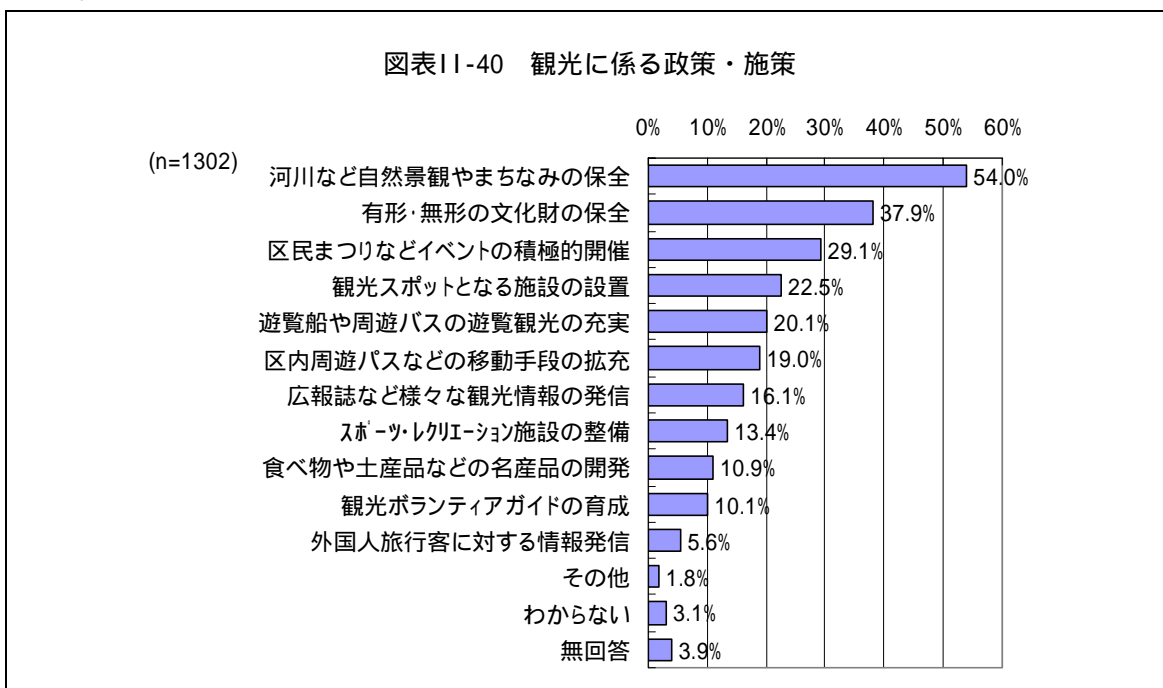
- ・ 「自然エネルギーの利用促進」(43.2%)が最も高く、「身近な生活環境の的確な把握・測定」(37.9%)、「区民等の協働による3R施策の推進」(33.6%)の順となっている。

図表II-39 環境保全・資源の有効活用に係る政策・施策



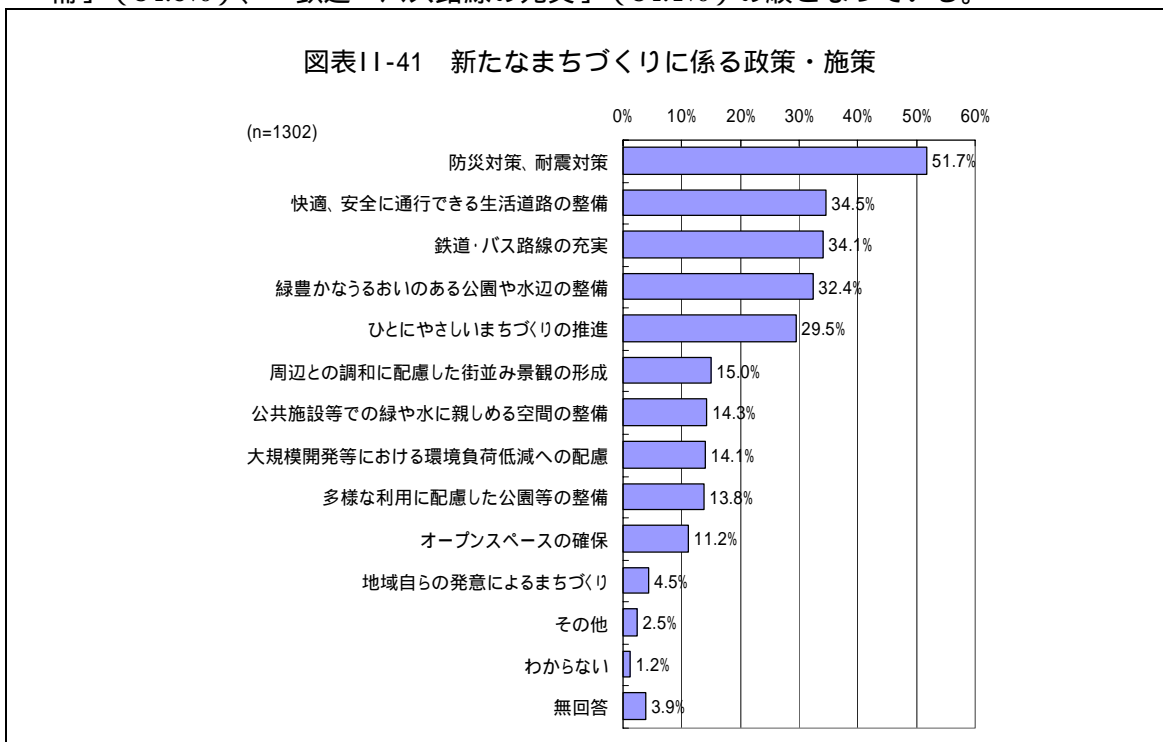
(6) 観光

- ・ 「河川など自然景観やまちなみの保全」(54.0%)が最も高く、「有形・無形の文化財の保全」(37.9%)、「区民まつりなどイベントの積極的開催」(29.1%)の順となっている。



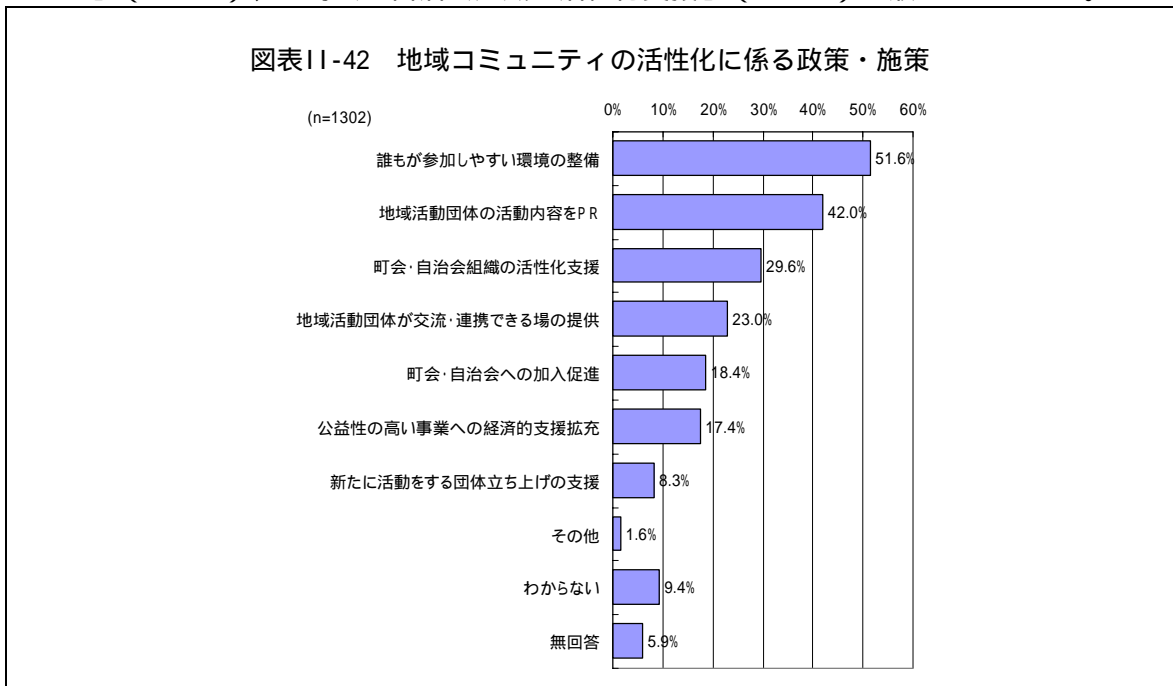
(7) 新たなまちづくり

- ・ 「防災対策、耐震対策」(51.7%)が最も高く、「快適、安全に通行できる生活道路の整備」(34.5%)、「鉄道・バス路線の充実」(34.1%)の順となっている。



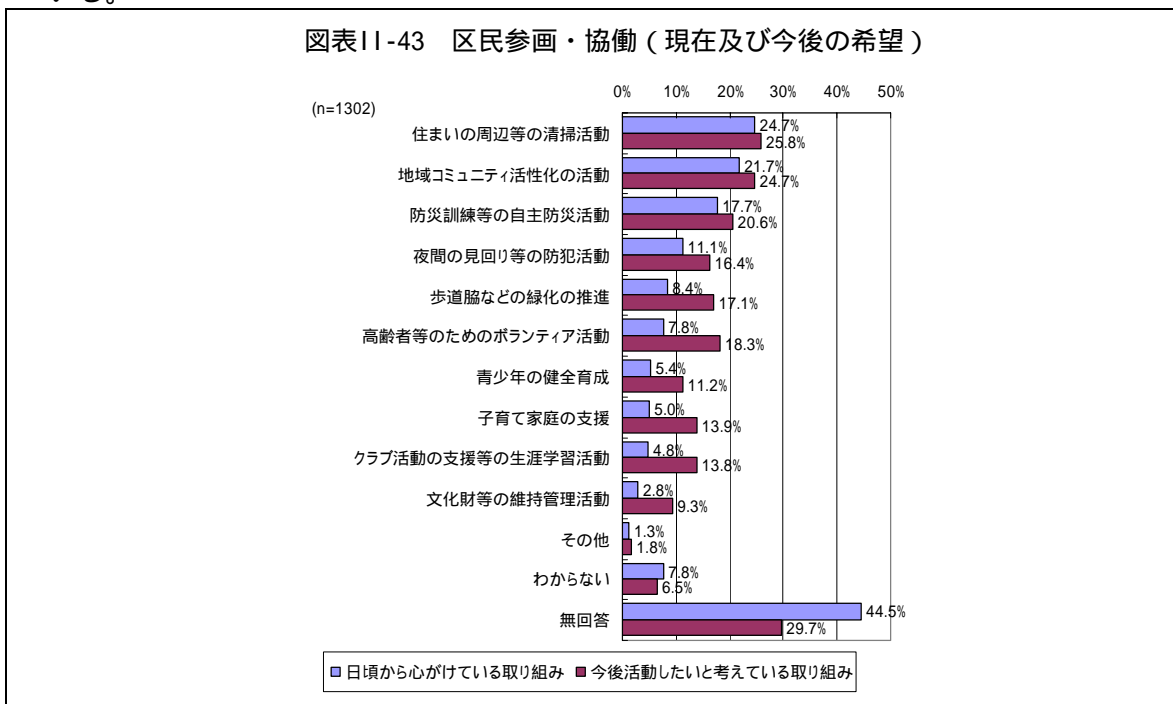
(8) 地域コミュニティの活性化

- ・ 「誰もが参加しやすい環境の整備」(51.6%) が最も高く、「地域活動団体の活動内容をPR」(42.0%)、「町会・自治会組織の活性化支援」(29.6%) の順となっている。



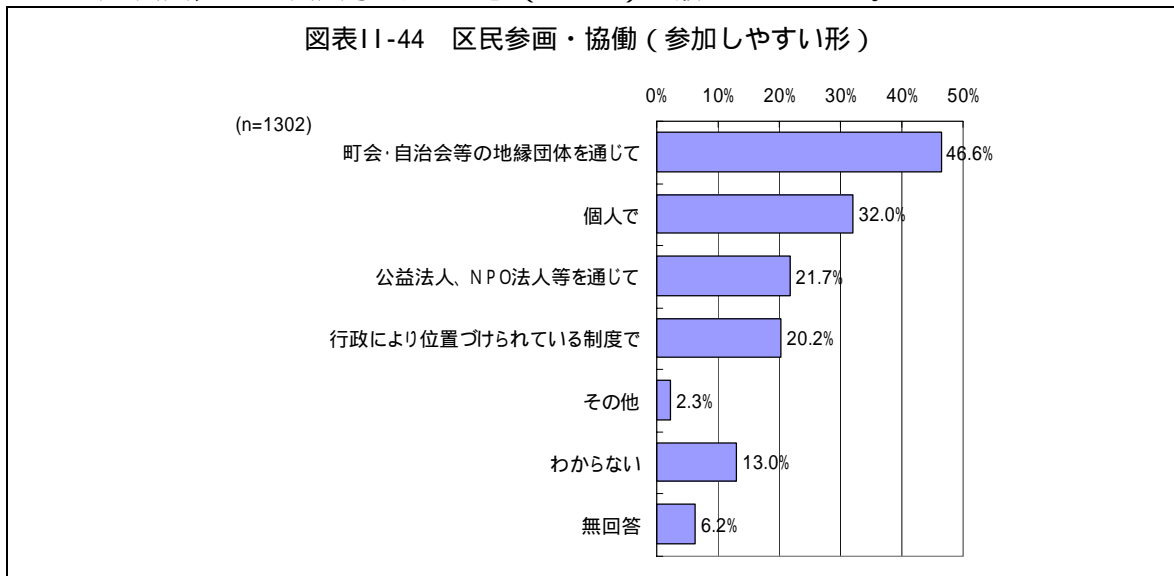
(9) 区民参画・協働の現状と今後の意向

- ・ 現在心がけている取り組み、今後活動したい取り組みともに「住まいの周辺等の清掃活動」(現在 24.7%、今後 25.8%) が最も高く、「地域コミュニティ活性化の活動」(現在 21.7%、今後 24.7%)、「防災訓練等の自主防災活動」(現在 17.7%、今後 20.6%) の順となっている。



(10) 区民参画・協働の参加しやすい形

- ・ 「町会・自治会等の地縁団体を通じて」(46.6%)が最も高く、「個人で」(32.0%)、「公益法人、NPO法人等を通じて」(21.7%)の順となっている。



【居住年数別】

- ・ 「3年未満」では回答者全体と異なり「個人で」が最も高くなっているが、他は回答者全体と同様に「町会・自治会等の地縁団体を通じて」が最も高くなっている。

図表II-45 居住年数別区民参画・協働(参加しやすい形)

	1位	2位	3位	4位	5位
3年未満(n=184)	個人で 40.8%	町会・自治会等の地縁団体を通じて 32.6%	公益法人、NPO法人等を通じて 21.7%	行政により位置づけられている制度で 19.0%	わからない 16.3%
3～8年未満(n=207)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 44.0%	個人で 37.2%	行政により位置づけられている制度で 24.2%	公益法人、NPO法人等を通じて 22.2%	わからない 13.5%
8～18年未満(n=145)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 40.0%	個人で 30.3%	公益法人、NPO法人等を通じて 26.2%	行政により位置づけられている制度で 18.6%	わからない 17.2%
18年以上(n=756)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 52.2%	個人で 29.2%	公益法人、NPO法人等を通じて 21.0%	行政により位置づけられている制度で 19.4%	わからない 11.4%

(11) 区政情報の公開

- ・ 「区報の掲載内容を拡充」(49.2%)が最も高く、「区報の公共施設やコンビニエンスストア等での配布を拡充」(42.6%)、「区政情報入手スペースを各地域に設置」(37.7%)の順となっている。

